

副センター長（工作部門担当） 文字 秀明

昨年からコロナ禍の状況にあり、工作部門は通常から大きく異なった形態で活動しています。昨年は一時的に工作依頼を教職員からのみに絞ったり、工作部門の建物内で勤務する職員の数を減らしたりしました。そのため、工作の打ち合わせがやりにくくなったり、製品の完成に遅れが出たりし、皆様にご不便をおかけしていることをお詫び申し上げます。また、これらの措置は大学の新型コロナウイルス感染対策に則ったものでありますので、ご理解いただきますようお願い致します。昨年後半から工作業務は、ほぼ通常に戻りましたが、感染防止を考慮し、接触機会を減らすために講習会に制限をかけたりし、すべてが元通りにはなっていません。また、今年になっても茨城県独自の緊急事態宣言が出され、いつ、どのような制限がかかるかわからず、安定した対応ができない状態です。引き続き、コロナ禍の中での業務であることにご理解いただきますようお願い致します。

さて、そのような中ですが、昨年の4月から、江並和宏准教授が工作部門に着任されました。本誌に自己紹介の記事が掲載されることと思われませんが、本学着任前は高エネルギー加速器研究機構の機械工学センターに勤務されており、機械工作に詳しく、工作部門の新しい戦力として期待されます。加えて、新型コロナウイルス対策や勤務体制の見直しなど、着任後すぐに雑多な業務を一手に引き受けていただき、工作部門の運営にその手腕を発揮されています。また、学生からの工作相談にも積極的に対応いただいております。教育の面でも活躍されるものと思われれます。江並先生には研究協力並びに教育でその力を十分に発揮されることを願います。

新型コロナウイルスによって行動が制限されている中ですが、一方、新しい教員も着任し、工作部門は活性化しています。工作部門をどうぞよろしくご利用ください。